

⚠ 安全上のご注意

- この度は、弊社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また、取扱説明書は必要に応じて、いつでも読むことができるように、大切に保管してください。
- 本取扱説明書では、誤った取扱をした場合に生じることが想定される危険の度合いを以下の通り、「警告」、「注意」として区分、説明しています。これらの警告・注意事項は必ず守ってください。

⚠ 警告

- 誤動作や事故が直接人体や生命を脅かす恐れのある制御機器(医療機器、航空宇宙機、列車、原子力等)には使用しないでください。
本電源は、監視カメラ用に制作されています。
- 使用条件が、電源の仕様書に記載の内容と相違のないことを必ず読んでご確認ください。
カメラの接続や他の機器の接続、及び通電の前に、“使用に際して”の内容を確認してください。
内容に不明な点がある場合は、通電する前に弊社までご相談ください。
- お手持での修理や改造は絶対におやめください。
修理や改造は感電・破壊・火災・誤動作等、重大な事故につながります。
- 通電中に直接人体が触れるような取付、及び作業はしないでください。
通電中及び停止直後は、高温・高電圧になっている部分があり火傷や感電の危険がありますので触れないでください。
- 出力リード線をショートさせないでください。
火災・故障等の原因となります。
- 配線するときは、ACコードを抜いてから作業を行ってください。
配線間違いのないよう十分に注意をしてください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

- 決められた入力電圧を必ず守ってください。
ACラインのヒューズが切れたり、発煙・発火の原因になりますので、入力端子・出力端子の極性を確認し誤接続のないことを確認してから通電してください。
- 電源内部に触れないでください。また、異物が入り込まないようにしてください。
電源の内部部品に触れたり、クリップ、ねじ等の異物が入り込むと、事故や故障の原因となります。
- 使用温度を必ず守ってください。
使用周囲温度は、電源周囲の温度です。
内部温度が上昇し、故障の原因となります。
- 使用中に故障または異常が発生したときは、すぐに入力を返断して電源を停止させてください。
また、この場合直ちに弊社にご相談ください。
- 振動・衝撃の多い場所での使用や、保管はしないでください。
故障の原因になります。
- 次の場所での設置、ご使用はさけてください。
 - ①直射日光の当たる場所、暖房機器等の近く、及び高温になる場所。
 - ②鉄粉、油、薬品、酸化水素等のかかる恐れのある場所。
 - ③地下室、温室等の湿度の高い場所。
 - ④冷凍倉庫内、クーラーの吹き出し口の正面等、温度の低い場所。
- この製品は、接地が取れておりません。

☆ ご使用に際して

1. 定格

入力電圧	AC100V	
入力周波数	50/60Hz	
	カメラDC12V出力	サービスコンセント(最大350W)
出力電圧	12V	AC100V x3
負荷電流	4台、Total 4.2A	
出力容量	50W	

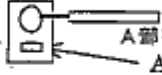
2. 使用温度・湿度

0℃～+40℃ 20～90%RH

3. 保存周囲温度・湿度

-30～+85℃ 20～90%RH

4. 操作

- カメラDC出力コネクタは、A部をマイナスドライバーで押さえながら5～7mmに剥離した線を挿入する。
- サービスコンセント3箇の最大使用可能電力は、総合で最大350Wです。
- 本機と商用電源を接続するとフロントパネル上のランプが点灯し、DC出力が供給されます。

5. 保護機能

- 過電圧保護：過電圧保護が動作した場合入力電源をOFFにして異常原因を取り除いた後、1分以上経過してから入力電源を再投入することにより復帰します。また、外来ノイズ等の過電圧状態が加わると過電圧機能が働き出力がOFFとなることがあります。
- 過電流保護：過負荷や出力短絡等の過電流状態になると出力が低下し、出力電圧は下がっていきます。負荷電流が定格電流以内に戻ると自動復帰します。

6. 使用上の注意

- 長時間(30秒以上)の過負荷状態(定格容量以上)及び出力短絡状態は内部素子を破壊することがありますのでご注意ください。
- ある出力だけ動作しないという場合、その電源の過電圧保護機能の動作、過電流保護機能の動作等を必ずご確認ください。
- 絶込まれている電源のヒューズが溶断している場合、その電源の内部回路に異常が生じておりますので購入先又は弊社まで修理をご依頼下さい。
- 危険ですのでケースをあげることは絶対に行わないでください。

7. 外形図

